

# 新規事業採択時評価結果(令和7年度新規事業化箇所)

担当課： 道路局 環境安全・防災課  
 担当課長名： 水野 宏治

## 事業の概要

事業名	スマートICアクセス 町道イロハ線、町道津浪巡回線 加計スマートICアクセス	事業区分	地方道	事業主体	広島県安芸太田町
起終点	自：広島県山県郡安芸太田町津浪 至：広島県山県郡安芸太田町津浪	延長	1.2km		

### 事業概要

町道イロハ線、町道津浪巡回線は、R5.9.8に新規事業化箇所された中国縦貫自動車道加計スマートICのフルインターチェンジ化にあわせて整備する、延長約1.2kmのアクセス道路である。

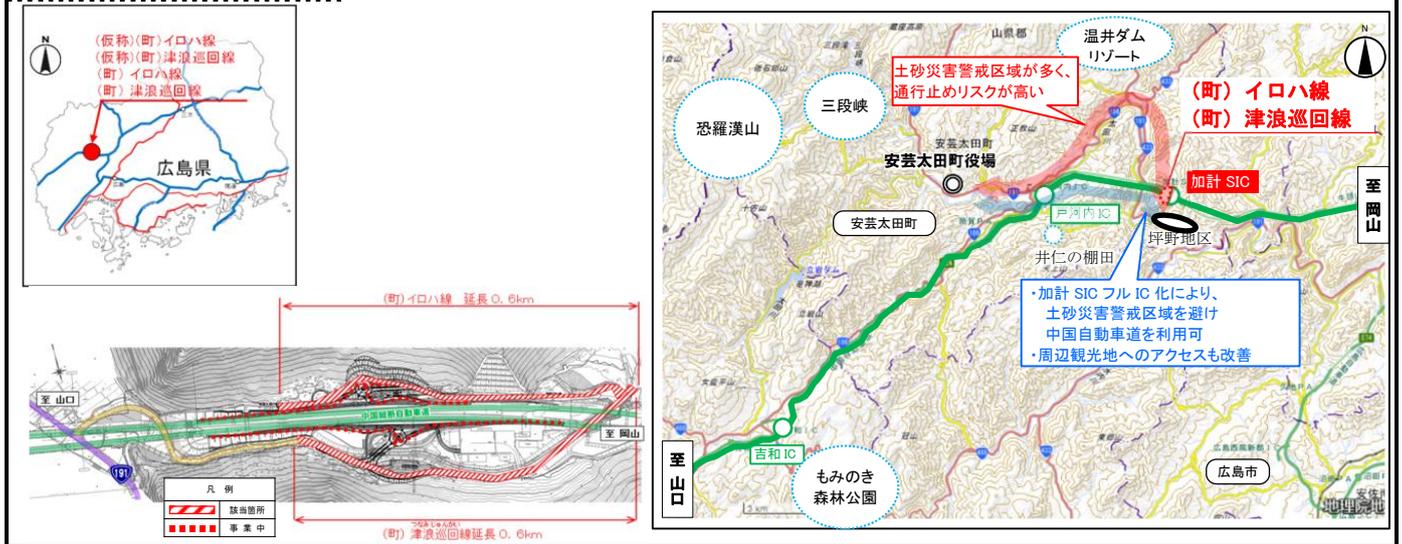
### 事業の目的、必要性

当事業により、加計スマートICへのアクセス性が向上することで、迂回路確保による防災機能の強化、周遊性向上による近隣観光地の来訪者増加、坪野地区や加計スマートIC周辺地区から生活基盤施設(役場や病院等)への移動時間短縮による利便性向上等を目的とした事業である。

全体事業費： 約5.0億円

計画交通量： 約100～700台/日

### 事業概要図



## 関係する地方公共団体等の意見

沿線自治体の安芸太田町から早期整備の要望を受けている。

## 学識経験者等の第三者委員会の意見

加計スマートIC 地区協議会において、新規事業化は妥当であると了承。

## 対応方針(採択理由)

費用便益比が2.7と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。

町道イロハ線及び津浪巡回線の整備により、加計スマートICを活用した信頼性の高いネットワークが確保され、安芸太田町加計地域の防災機能の強化や観光振興の支援をするなど、当該道路の整備の必要性・効果は高いものと判断される。

以上より、本事業は令和7年度新規事業個所として妥当である。

事業評価結果(総合評価)

事業採択の前提条件	
<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施環境が整っている	

費用 便益分 <small>(参考)</small>	B/C		(参考)	EIRR	総費用	4.2億円	総便益	11.0億円	<small>(参考)</small> 時間信頼性向上便益:- 億円 CO2排出削減便益:- 億円	感度分析		基準年
	[4%]	2.7	-	11.4%	事業費: 4.1億円 維持管理費: 0.08億円 更新費: -億円	走行時間短縮便益: 10億円 走行経費減少便益: 1.1億円 交通事故減少便益: 0.39億円	交通量変動	B/C=2.7~2.8		(変動ケース:±10%)	令和6年	
	[2%]	4.1	-				事業費変動	B/C=2.5~3.0		(変動ケース:±10%)		
	[1%]	5.1	-				事業期間変動	B/C=2.6~2.8		(変動ケース:±20%)		

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。  
 ※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。( )内は社会的割引率の値

事業の 影響	評価項目		評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	-	
事故対策		○	・安全性の向上に期待。 ・当該道路を整備することで現道の狭隘部分が2車線確保され、大型車との離合が容易になり安全性の向上が期待される。	
歩行空間		-	注目すべき影響はない。	
社会全体への影響	住民生活	◎	加計地区から町内の二次救急医療施設までの国道186号は線形不良箇所や通行止め実績が多く存在しているが、加計スマートICのフルインター化により確実な搬送経路が確保される。	
	地域経済	○	加計スマートICのフルインター化により、西方面からの観光客を加計スマートIC付近の観光施設への誘導が可能となり、町内観光施設を巡る新たな周遊ルートが確保でき、観光振興が期待される。	
	災害	◎	国道186号や国道433号は「土砂災害警戒区域」指定箇所が多く存在し、落石や土砂崩れ等により全面通行止めや片側通行止めが発生しており、緊急時における救急活動路線の確保は、重要かつ不可欠な課題となっている。 加計スマートIC フルインター化とあわせた整備により、救援物資集積拠点から防災拠点施設への物資輸送路の多重性(リダンダンシー)が確保され、地域の安全・安心に寄与する。	
	環境	-	注目すべき影響はない。	
	地域社会	○	移住者数は年々増加しているが、安芸太田病院や安芸太田町役場など、住民の生活に欠かせない施設が戸河内地区に集積している。 加計スマートICのフルインターチェンジ化とあわせて整備することにより、更なる移住者数の増加が期待される。	

事業実施環境	
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年9月8日に加計スマートICのフルインター化が新規事業箇所公表。</li> <li>沿線自治体の安芸太田町から早期整備の要望を受けている。</li> </ul>	